

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 川西赤十字病院ニュース

〒384-2292 (病院個別番号) 長野県佐久市望月318  
 TEL.0267-53-3011(代) FAX.0267-53-5901  
<https://kawanishi.jrc.or.jp>  
[kawanishi-med-jrc@shore.ocn.ne.jp](mailto:kawanishi-med-jrc@shore.ocn.ne.jp)

■ 発行者：川西赤十字病院  
 ■ 院長：大和眞史  
 ■ 印刷所：立科印刷

## 2021 (令和3) 年、謹賀新年

病院長 大和眞史

初詣、遠来の客や親類への訪問、お年玉、これらすべてに新型コロナウイルス感染症の影響があったことでしょうか。例年とは大きく異なる年末年始を迎えました。「変化と成長」を強調してきましたが、皮肉なことに大きく変わると書いて「大変」と読み、100年に1回というようなパンデミック、COVID-19という大変な事態を迎えています。2020年ほど、年初の思いと異なる劇的な環境変化を経験することも珍しいと思います。

さて恒例にしたい「病院の10大ニュース；2020」を考えてみましょう。

	2019 (令和元) 年	2020 (令和2) 年
1	5年ぶりに経常赤字決算	経常収支で黒字決算
2	院長・看護部長・事務部長3役交代	COVID-19の影響で長期面会禁止
3	CT装置入れ替え	認知症チーム発足
4	常勤医5名体制に	長野日赤から臨床研修医4人地域医療研修に
5	全国赤十字からの応援医師返上	川西消防署と救急ホットライン導入
6	『再検証要請』公立・公的424病院	柳田佐久市長・井上富士見高原病院名誉院長講演
7	台風19号災害に救護班	ノロウイルス感染症発生(5名に留めた)
8	地域包括ケア病床30床に増床	在宅療養支援病院指定
9	完全週休2日制移行	訪問看護増加率が全日赤病院最上位に
10	タイムレコーダ導入	週1回の眼科外来(荻野Dr)スタート
番外	佐久総合・伊澤統括院長講演、嚙下造影開始、川西地区連携医の集い	佐久・北佐久両歯科医師会と口腔ケアチーム発足、臨床倫理委員会設置、診療報酬改定、患者・職員満足度調査実施

- 面会禁止期間が長期化するのでオンライン面会や、県外との往来の少ない方1名を短時間で等の工夫があるも、大都市圏からの付添いや面会にご不自由をかけています。
- 認知症認定看護師を中心に多職種チームが活動開始。
- 長野日赤から臨床研修医が2週間ずつ4人地域研修に訪れ、スタッフの優しい見守りの中で、急性期医療と異なる地域密着型の医療・介護を真剣に学んでいきました。
- 救急隊からの要請に、当直をお願いしているDrの提案が実って、3点同時通話のホットラインが開設され、救急搬送時間短縮に貢献しています。
- 柳田清二・佐久市長と井上憲昭・富士見高原病院名誉院長から貴重なお話と共に、川西地区になくてはならない病院としてエールを送っていただきました。
- ノロウイルス感染発生と共に感染対策を厳密に行い、最小限の規模に留めました。
- 訪問診療部門；往診・訪問看護・訪問リハが活躍し需要に応えています。
- 地域から要望が多かった眼科診療、隔週土曜から毎週木曜に拡大しました。
- 前年度から検討を進めていた口腔ケアに佐久・北佐久両歯科医師会のご協力があって、院内チームに訪問診療の形でご指導・支援が加わる体制がスタートしました。

2020年は前年に比べて「守り」から「攻め」のニュースが増えた気がします。「大変」なことにはならない、素晴らしい変化を期待しています。

次に来る旅人のために泉を清く保て (ジンギスカン)

# 佐久市長・富士見高原病院名誉院長を講師に迎えた 職員学習会について

総務課

令和2年10月19日、柳田清二佐久市長・井上憲昭富士見高原病院名誉院長をお迎えし、ご講演いただきました。

## 住民が信頼し生命を預けてもらわない限り、効果のある医療が提供できない

井上名誉院長からは、医師不足等により危機的状況にあった富士見高原病院を持ち直し、いかにして地域になくってはならない現在の病院へと成長させていったのか、ご自身の半生を踏まえながらユーモアと情熱をもってお話をいただきました。

「安定した経営・医療の提供を行うには、住民からの信頼が重要であり、それが技術革新や職員の意欲や成長へとつながる。成長し、より良い医療が提供できれば住民の信頼へつながる。」

病院職員にとっては、多忙な業務の中で忘れがちになってしまうことですが、住民と病院は密接な関係にあり、信頼を得られる病院であり続けることができるよう職員ひとりひとり何ができるのかを考える良い機会となりました。

## 地域の経済活動は病院への導線上にある

柳田清二佐久市長からは、「これからの佐久市」をテーマに、地域と医療から佐久市の可能性についてご講演をいただきました。

佐久市の各地域の特色を生かしたまちづくりを進めていく構想についてのお話をされるとともに、厚生労働省より本年9月に発表された、「再編統廃合を特に議論が必要」とされる病院にも触れ、佐久市としては、県および国へ「個々の病院の役割や地域の実情を考慮した背景の展開と、各病院の財政支援を要望する旨を呼び掛けていく」としました。

佐久市と地域医療に対する熱意のあふれるお話に、改めて川西赤十字病院の地域での役割を確認する良い機会となりました。





看護部長 兼 医療社会事業部長  
みちのち 豊  
水内

## 対策のポイントと 受診時のお願いについて

日本で新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の流行が始まって1年となろうとしています。ようやくワクチンが作られ接種が始まった外国もありますが、私たちがいつ接種できるのか、効果はどうなのかが、まだはつきりしません。そこで次の感染予防対策は引き続き行う必要があります。

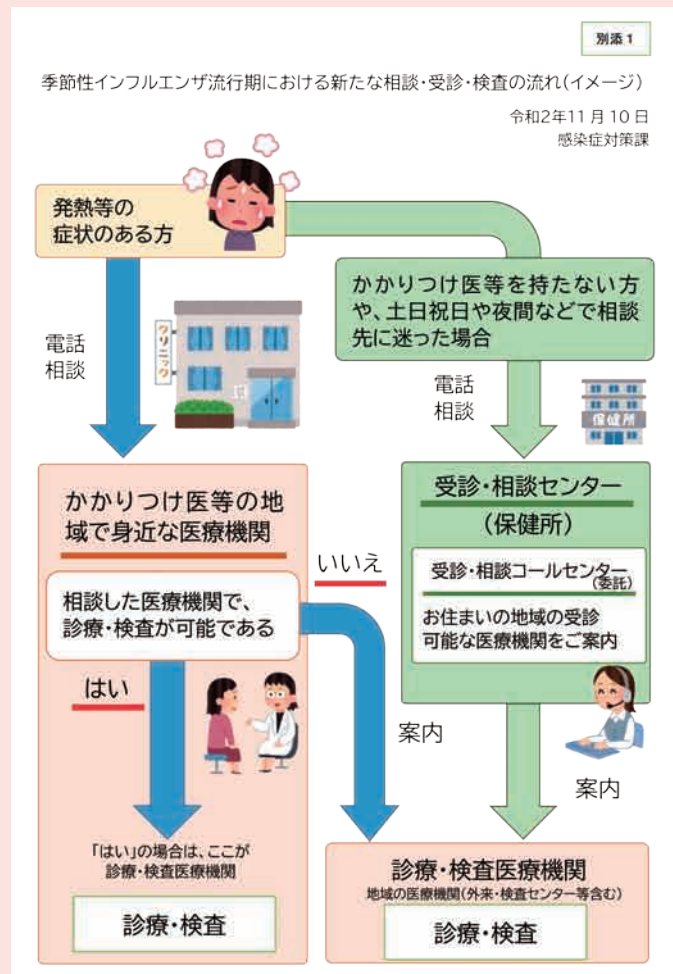
### 1 「新型コロナ」の対策のポイント

- ① **地域で流行が始まったら、不要不急の外出は控えましょう。**
  - ・新型コロナは、ヒトからヒトにうつる病気で
- ② **外出が必要な時には、人混みや1～2m以内で人と会う時には、お互いに必ずマスクを着用しましょう。**
  - ・主な感染経路は、くしゃみ、咳、つばなど飛沫（ひまつ）を受けることで感染します。
  - ・インフルエンザと違って、症状の出る2日くらい前からウイルスを周囲にまき散らします。
  - ・年末年始や連休に他の地域（県外含む）から来られたご家族・親戚等とゆっくりとお話するときには、密閉・密集・密接の「3密」をさけ、換気をよくする、マスクを着用するなど、ご自宅の中でも感染対策を行いましょ
  - う。
  - ・マスクを外す会食時には特に注意をしましょう。食事でも大皿や鍋をみんなでつついて食べるのではなく、それぞれの皿に取り分けるなど、共有化は避けましょ
- ③ **帰宅時には、石けんで手をよく洗いましょ**う。
  - ・病院や役場、スーパーなどに出かけた際には、入口に設置してあるアルコール手指消毒剤を使って、手指を消毒しましょ
  - う。
  - ・冬季には、新型コロナだけでなく、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症も流行します。風邪症状、下痢・嘔吐などの症状のある家族がいる時には、手洗いの徹底だけでなく、洗面所のタオルの共有を避けることも必要です。

で、そこで「新型コロナ」をうつしたり、うつったりしないためにも、必ず病院に電話して、来院時間を確認してから、マスクを着用して受診していただくようご協力をお願いします。

・当院だけでなく、他の病院を受診される時も同じです。

- ② **「かかりつけ医・病院」を持たない方や土日・夜間は、保健所等の受診・相談センターにお問い合わせして、指定された病院を受診してください。**



### 2 今冬の発熱や風邪症状の出現時の 病院受診についてのお願い

- ① **必ず「かかりつけ医・病院」にお電話でまずご相談ください。**
  - ・病院には大勢の外来受診患者さんがいますの

長野県ホームページ感染症対策課：季節性インフルエンザ流行期における新たな相談・受診・検査の流れ  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/documents/20201110press.pdf>



# 浅科地区 防災マップ

令和2年9月

## 指定緊急避難場所

災害の危険から緊急的に避難し、身の安全を守るための場所または施設

浅科地区		所在地	地震	洪水	土砂	噴火	
中津	80	浅科会館	塩名田1338	×	○	○	○
	81	御馬寄コミュニティセンター	御馬寄173	○	○	×	○
	82	駒寄公会場	御馬寄587-39	○	○	○	○
	83	浅科生きがい活動支援センター	塩名田456-1	×	○	×	○
	84	庄ノ上生活改善センター	御馬寄925-32	○	○	○	○
甲	85	浅科多目的屋内運動場	塩名田1155-1	○	○	○	○
	86	上原公会場	甲2165-3	○	○	○	○
	87	中原構造改善センター	甲1176-4	○	○	○	○
	88	下原公会場	甲1351-5	○	○	○	○
	89	あさしな保育園	御馬寄715-1	○	○	○	○
南御牧	90	あさしな児童館	御馬寄715-2	○	○	○	○
	91	道の駅 ほっとば〜く・浅科	甲2177-1	○	○	○	○
	92	桑山公会場	桑山728-2	○	○	×	○
	93	入の沢公会場	桑山585-1	○	○	×	○
	94	御牧原多目的集会所	八幡1124-3	○	○	○	○
	95	八幡コミュニティセンター	八幡69-1	○	○	○	○
	96	矢島老人憩いの家	矢島392	×	×	○	○

## 指定避難所

避難者等を一定期間滞在させるための施設

浅科地区		所在地	地震	洪水	土砂	噴火	
中津	33	療育支援センター	御馬寄1359-4	×	○	○	○
	34	浅科保健センター	塩名田570	○	○	○	○
甲	35	浅科小学校	甲2003-1	○	○	○	○
南御牧	36	浅科中学校	八幡150	○	○	○	○
	37	交流文化館浅科	八幡229	○	○	○	○

想定される災害の種類

**地震** 地震災害 **洪水** 洪水災害

**土砂** 土砂災害 **噴火** 浅間山噴火に伴う火山現象

避難の適否

適 → ○

不適 → ×

2階以上適 → △

「防災無線(無料)テレホンサービス」を開始しました。  
防災無線の内容が電話で確認できるようになりました。

フリーダイヤル 0120-71-1120

●佐久市情報配信サービス「さくネット」

防災・防犯・気象情報などを  
電話・FAX・メールにより無料で配信します!

市から配信する内容

- 防災情報……災害情報・避難情報など
- 防犯情報……特殊詐欺への警戒など
- その他緊急情報……行方不明者の情報提供など
- 気象情報など……メールのみで配信



さくネット  
ホームページ  
QRコード



●詳しくは、広報広聴課 ☎62-3075まで



火山灰・軽石が  
30cm以上積もる  
おそれのある地域





### 凡例

●土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域  
がけ崩れといった土砂災害のおそれのある区域

警戒区域	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
特別警戒区域	特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域	警戒区域

●前壊土砂流出危険地区  
山腹崩壊または地すべりによって発生した土砂が、土石流となって流出するおそれのある地区をいいます

●山腹崩壊危険地区  
山腹崩壊によって、公共施設または人家に直接被害を与えるおそれのある地区をいいます

●地すべり危険箇所  
地すべり危険箇所のうち、法律に基づく指定を受け、防災対策を講じている区域をいいます

### 洪水災害

●洪水による浸水の深さ **計画規模降雨(100年確率)**  
各流域で100年に1回降ると考えられている大雨の規模を想定。毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)あることを意味しています。

【千曲川】

20m以上	10~20m未満
5.0~10m未満	3.0~5.0m未満
0.5~3.0m未満	0.5m未満

●洪水による決壊等の危険区域(重要水防区域)  
洪水時に、決壊、風水害の危険が予想され、水防上特に警戒を要する区域のことをいいます

### 浅間山の噴火に伴う火山現象

●天明の噴火を想定  
▼ここに示した噴火の影響範囲は、天明の噴火(天明3年・1783年)と同規模の噴火が発生したときの予想範囲です。なお、これよりも大規模な噴火が発生した場合には、さらに広い範囲に影響が及ぶと予想されます。

●空襲により被害を受ける予想範囲(半径18km)

●浅間山の山頂火口より20km

●火山灰・軽石が30cm以上積もるおそれのある範囲

●施設

砂防施設	災害対策用ヘリポート
水防扉	浅科支所
指定緊急避難場所	指定避難所

### 浸水想定区域

千曲川・滑津川・湯川・志賀川で洪水が発生した場合の浸水状況を想定したものです。

【千曲川】

5.0m	2階の軒下以上が浸水する程度
3.0m	2階の軒下まで浸水する程度
2.0m	1階の軒下まで浸水する程度
1.0m	大人の膝までつかる程度
0.5m	大人の膝までつかる程度

●洪水予想区間の概要

河川名	予備区間名	実施区間	基準地点
千曲川	千曲川上流	佐久市下越(臼田橋)から上田市大屋(大屋橋)	下越観測所 塩名田観測所

●基準地点の概要

河川名	観測所名	所在地	水防用観測水位	氾濫注意水位	氾濫危険水位
千曲川	塩名田	下越	1.0m	1.7m	2.6m
		御馬寄	2.2m	3.0m	3.9m

### 避難のための情報収集

防災情報は、各機関から以下のような経路で伝達されます。市民の皆さんは、テレビ・ラジオ・インターネット等を活用して、自ら情報収集を行い、洪水や土砂災害の危険性があるときは、早めに避難するよう心がけてください。

避難情報の流れ  
気象情報や河川の水位情報の流れ

```

    graph TD
      A[気象庁 長野地方気象台  
●気象注意報  
●気象警報] --> B[報道機関]
      C[国土交通省 千曲川河川事務所  
●千曲川雨量/水位情報] --> B
      D[長野県 佐久建設事務所  
●千曲川水位情報] --> B
      B --> E[テレビ・ラジオから]
      B --> F[防災無線・緊急通報メール]
      B --> G[消防団の広報車などから]
      B --> H[区長(自主防災組織)から]
      B --> I[広報車などから]
      B --> J[インターネットやメール]
      E --> K[市民の皆さん]
      F --> K
      G --> K
      H --> K
      I --> K
      J --> K
  
```

災害時、すべての避難所が開設されるわけではありません。災害の種類、被害の状況等により、開設する指定緊急避難場所・指定避難所を市が指定し、開設します。

### 5段階の警戒レベル

住民がとるべき行動	警戒レベル	避難情報等
命を守る最善の行動	警戒レベル5	災害発生情報
「危険な場所から」全員避難	警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告
「危険な場所から」高齢者等は避難	警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始
避難行動の確認	警戒レベル2	大雨注意報 洪水注意報
災害への心構えを高める	警戒レベル1	早期注意情報

### Information 情報収集はこちらから

天気予報・台風情報などの気象情報

- 気象庁 <http://www.jma.go.jp/>
- 長野地方気象台 気象情報テレホンサービス 電話 026(232)2037

雨量情報・警報・注意報など(長野県防災情報メールの登録)

- 佐久市雨量計測システム <http://rain.think-tech.jp/RG/map.aspx>
- 長野県河川砂防情報ステーション <http://www.sabo-nagano.jp/> (PC) <http://www.mobile.sabo-nagano.jp/> (携帯)

主な河川の水位雨量情報

- 国土交通省 千曲川河川事務所ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>
- 国土交通省 「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/> (PC) <http://i.river.go.jp/> (携帯)

災害情報・避難情報

- 佐久市公式ホームページ <http://www.city.saku.nagano.jp>



## 発熱はありませんか？

発熱のある患者様、  
風邪症状のある患者様は、  
院内に入らずに

**0267-53-3011** まで電話を入れてください。

お電話のない方は正面玄関のインターホンを押してください。  
受診方法などをご案内いたします。

## 地域医療構想について

地域医療構想は、団塊の世代がすべて後期高齢者入りする2025年の必要病床数を4つの医療機能ごとに推計し、機能分化を進めて効率的な医療提供体制を実現する取り組みです。

### 再編統合を再検証要請された公立公的424病院の選定過程について

毎年の政府諮問会議で地域医療構想の進捗の遅れが指摘され、監督権が及びやすい公立病院に次いで公的病院に改革プラン提出を求めました。さらに2019年9月に再編統合を再検証すべき公立公的424病院（当院を含む）名を公開して一層の推進を図りました。これを機に、地域住民や自治体や医療関係者などによって、地域の生活を支える重要な柱である医療をどのように守っていくか、真剣な議論が交わされました。

### 佐久構想区域調整会議での議論

本年1月30日に佐久構想区域調整会議が開催され、長野県の見解は「厚生労働省の分析は、全国一律の基準により行ったものであり、対象病院が地域において果たしている役割を踏まえず、この分析結果をもとに再編統合の検討を行うことは適切でない。一方で、今後の人口減少や少子高齢化に伴う疾病構造の変化を見据えれば、再検証の対象となった病院に限らず、すべての医療機関で他医療機関との連携体制や果たすべき役割について、検討を進めていくことは必要」でした。

3月5日付け県健康福祉部長名で厚労省通知に沿って、① 現在の地域における急性期機能や、将来の人口推移とそれに伴う医療需要の変化等の医療機関を取り巻く環境を踏まえた、2025年を見据えた自医療機関の役割、② 分析の対象とした領域ごとの医療機能の方向性（他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）、③ ①②を踏まえた機能別の病床数の変動 について再検証を進めるよう求めています。

### 川西日赤はどのように「再検証」するか

がん・心臓病・脳卒中の治療を手術件数など急性期医療の内容で評価する尺度は、北海道・東北や長野県のように人口減少・高齢化が進んだ中山間地の医療を公立公的病院が担っている地域には不適切です。また病院間の機能分化がすでに進んだ地域の医療の実情に合っていません。亜急性期・回復期・慢性期の医療は民間が担うというのは、医療機関が多い西日本や大都市圏での話であり、長野県で実名公表された病院機能を民間が代替することは困難と考えます。川西地域唯一の病院としての今後の役割を地域と共有し、期待される需要に応える医療と経営の質を確立していく方針です。



## ● 川西赤十字病院・川西消防署合同救急法講習会の開催について

当講習会は、例年9月9日「救急の日」に合わせて開催をしていますが、本年は、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、11月7日に開催しました。

一時は開催も危ぶまれましたが、感染症対策を行い無事に開催にいたりしました。

例年より少ない参加者が見込まれる中で、ほぼ例年通りの参加者が集まり、市民の皆さんの一時救命へのご理解に大変うれしく感じました。

当日は、感染症対策のため参加者1人につき1台のPCR人形とAEDトレーナーを使って訓練を受けていただきました。本年も積極的に訓練をしていただき、大変充実した講習となりました。

救急法講習会は毎年実施しております。参加費無料でどなたでもご参加いただけます。

また、一度受講いただいた方も再度受講も可能となります。

いざというときのため、気になる方は来年ぜひご参加ください。



### 患者サービス委員会の

### 活動報告について

#### ①患者満足度調査の実施について

2020年10月～12月に患者様に対する医療サービスの向上を図ることを目的として、外来及び入院患者様を対象として患者満足度調査を実施しました。

調査にご協力いただきました患者様およびご家族の皆様には、心より感謝申し上げます。調査結果は、皆様にご満足いただけるより良い病院づくりのヒントとして活用させていただきます。ご満足いただけている点については、引き続き継続し、改善すべき点については改善に向けて取り込んでまいります。

尚、調査結果については来年3月頃に当院のホームページ等を通じ報告させていただきます。

#### ②職員満足度調査の実施について

患者満足度調査と同時期に、職員の意識及びその変化を継続的に調査・分析し、職員の満足度向上に向けた課題について共通認識を持ち、職員の意識改革を図ることを目的として実施しました。

#### ③すす払い・窓ふきの実施について

11月2～20日まで環境美化を目的として、院内の窓ふき及びすす払いの年末大掃除を実施しました。

## 蓼科高校による令和元年台風19号災害義援金の募金について

蓼科高校の生徒さんより昨年の台風19号災害への義援金を寄付頂きました。

1年をかけ、綺麗な絵の募金箱を作成し、義援金を募り集めた義援金。

義援金だけでなく、皆さんの被災地復興の気持ちも一緒にお届けさせていただきます。

蓼科高校の皆さん、そして先生方、赤十字の活動に賛同頂き本当にありがとうございます。

特に今年は新型コロナウイルス禍で学生生活、勉学も大変であったことと思います。

早く新型コロナウイルスが収束し、楽しい学生生活と思い出ができること願って止みません。

この度は本当にありがとうございました。



## 外来医師担当表

		月	火	水	木	金	土
内科 (循環器科)	午前 8:30~11:30	宮澤 泉 稗田 宏子	米倉 宏明 稗田 宏子	田村 泰夫 宮島 素子	米倉 宏明 信州大学 (9:00~11:30)	宮澤 泉 久米 典彦	休 診
	午後 14:00~16:00			米倉 宏明	大和 眞史		休 診
外科 (消化器科)	午前 9:00~11:30	清水 公男	清水 公男 第3週休診	近藤 泰之	検 査	佐久総合 (月1回)	休 診
整形外科 (リウマチ科) (リハビリ科)	午前 8:30~11:30	大内 悦雄	こもろ 医療センター 9:00~	大内 悦雄	塩澤 律 9:30~	大内 悦雄	休 診
眼科	午後 14:00~16:00				荻野 彩絵		休 診
泌尿器科	午後 14:00~16:00		毎月第1金曜日のみです			佐久医療 センター ★予約制★	休 診

■受付時間 (全科) 午前7:00~11:30 (初診患者受付は8:30より開始)

■水・木曜日内科午後診は14:00~16:00まで

■曜日により診療開始時間が下記の時間帯になります。

・整形外科 (火・第1・第3・第5土曜日) 9:00~ (木曜日) 9:30~

・眼 科 (毎週木曜日) 14:00~

・泌尿器科 (毎月第1金曜日) 14:00~

★毎月1回、子宮頸がん検診を実施しています。

ご希望の方は当院医事課までお問い合わせください。

※担当医師は、曜日によって他の医師へ代診となることがあります。

その場合は、院内に掲示いたします。